

平成23年1月28日
栃木県保健福祉部高齢対策課
担当: 荒井順子 028-623-3054

ソ連抑留中死亡者遺骨の伝達について

(概要)

平成21年7月、政府派遣の遺骨帰還団により、ロシア連邦ハバロフスク地方「第5収容所第2支部マウリンスキー村」埋葬地から帰還した御遺骨10柱のうち1柱が、DNA鑑定の結果、本県出身者であることが特定された旨、厚生労働省から通知がありました。

御遺骨は、2月1日(火)御遺族の自宅において、高齢対策課長から伝達します。

1 抑留中死亡者

- (1) 氏名 安良岡 淳(やすらおか じゅん 大正8年3月7日生)
- (2) 本籍 栃木県
- (3) 所属部隊 第67飛行場大隊
- (4) 階級 陸軍准尉
- (5) 死亡時年齢 27歳(昭和21年6月15日死亡)
- (6) 死亡場所 コムソリスク ホルモリン217収容所

2 遺骨受領者

- (1) 氏名 安良岡 完治(やすらおか かんじ)
- (2) 続柄 甥

3 伝達日時・場所

- (1) 日時 2月1日(火)15時30分頃
- (2) 場所 遺骨受領者宅

4 特定に至った経緯

(1) 埋葬地に係る関係資料概要

ロシア連邦ハバロフスク地方「第5収容所第2支部マウリンスキー村」埋葬地については、旧ソ連政府から提供された「抑留中死亡者名簿」に10名が登載されており、その提供資料と厚生労働省保管資料を照合調査した結果、「安良岡淳」様が埋葬されていることが確認できた。

(2) 収容状況

平成21年7月27日から8月10日までの間、政府派遣の遺骨帰還団は当該埋葬地に埋葬されていた10柱の御遺骨を収容した。

(3) DNA鑑定の結果

当該埋葬地から収容した御遺骨のうち、DNA鑑定用の検体が採取できた7柱とDNA鑑定を希望される御遺族との間で鑑定を実施したところ、平成21年7月31日に収容された御遺骨1柱から上記遺骨受領者と親族関係が存在するとの結論が得られ、「安良岡淳」様の御遺骨と判明した。

5 参考

国費によるDNA鑑定は平成15年度から導入され、本県では、平成16年度に1柱、平成17年度に3柱、平成18年度に3柱、平成20年度に1柱、平成21年度に2柱を御遺族に伝達しており、今回で11柱目となる。